



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 日東紡

コード番号 3110 URL <http://www.nittobo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南園 克己

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部経理財務部長 (氏名) 宇佐見 陽

TEL 03-4582-5040

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,113	△2.6	2,749	△11.5	2,467	△11.1	1,736	72.2
24年3月期第2四半期	41,185	△2.5	3,106	3.3	2,774	8.0	1,008	△15.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,145百万円 (36.9%) 24年3月期第2四半期 836百万円 (58.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.71	—
24年3月期第2四半期	5.06	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	130,672	55,945	42.2
24年3月期	131,040	55,811	42.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 55,158百万円 24年3月期 55,036百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期の配当予想につきましては、未定であります。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	0.4	6,000	1.2	5,500	0.1	3,000	109.2	15.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、[添付資料]3ページ記載の「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	247,677,560 株	24年3月期	247,677,560 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	48,385,143 株	24年3月期	48,350,980 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	199,314,104 株	24年3月期2Q	199,368,774 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]2ページ記載の「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成25年3月期の配当予想額につきましては、業績動向等を勘案した上で、開示が可能となり次第速やかに開示致します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務危機問題等による世界経済停滞や、円高の長期化などを背景に、減速感が強まりました。

繊維事業は、衣料品消費が引き続き低迷するなか、コストダウンや高機能、高付加価値品の拡販に努めてまいりました。

グラスファイバー事業は、電子材料分野並びに強化プラスチック分野の高付加価値品や断熱材分野が堅調に推移しました。産業資材分野は、建築・土木用途を中心に拡販に努めました。

環境・ヘルス事業は、体外診断薬分野が堅調に推移し、スペシャリティケミカル分野や飲料分野は、新商品の上市と拡販を進めてまいりました。

その他の事業は、不動産・サービス事業などの収益確保に取り組んでまいりました。

この結果、日東紡グループの売上高は401億13百万円、営業利益は27億49百万円、経常利益は24億67百万円、四半期純利益は17億36百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,306億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億68百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少などです。

負債は747億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2百万円減少しました。主な要因は、未払法人税等の減少などです。

純資産は559億45百万円となり、自己資本比率は42.2%と前連結会計年度末に比べ0.2ポイント上昇しました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益29億27百万円、減価償却費25億39百万円による増加、法人税等の支払額18億70百万円、引当金の減少額10億30百万円による減少などにより25億47百万円の資金が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出22億52百万円などにより28億8百万円の資金が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入37億円、長期借入金の返済による支出37億83百万円、配当金の支払額9億96百万円などにより8億7百万円の資金が減少しました。

これらの結果、現金及び現物同等物の四半期末残高は74億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億37百万円の資金が減少しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,457	7,420
受取手形及び売掛金	27,010	25,991
商品及び製品	8,526	8,759
仕掛品	3,613	3,846
原材料及び貯蔵品	14,218	14,803
繰延税金資産	2,163	1,760
短期貸付金	10	10
その他	1,844	836
貸倒引当金	△44	△43
流動資産合計	65,801	63,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,909	14,368
機械装置及び運搬具(純額)	7,850	8,090
土地	17,640	17,652
リース資産(純額)	974	1,909
建設仮勘定	1,020	980
その他(純額)	699	763
有形固定資産合計	42,094	43,764
無形固定資産		
投資その他の資産	1,639	1,554
投資有価証券	12,500	12,407
長期貸付金	17	17
繰延税金資産	7,727	8,308
その他	1,303	1,280
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	21,505	21,969
固定資産合計	65,239	67,289
資産合計	131,040	130,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,993	10,245
短期借入金	6,395	6,785
1年内返済予定の長期借入金	7,487	7,945
リース債務	199	321
未払法人税等	1,911	1,060
賞与引当金	1,510	1,350
災害損失引当金	181	8
その他	6,547	7,364
流動負債合計	35,226	35,082
固定負債		
長期借入金	20,043	19,503
リース債務	971	1,809
繰延税金負債	77	74
退職給付引当金	12,009	11,951
修繕引当金	5,115	4,478
事業構造改善引当金	219	215
その他	1,566	1,612
固定負債合計	40,002	39,644
負債合計	75,228	74,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	23,062	23,062
利益剰余金	22,376	23,116
自己株式	△8,874	△8,882
株主資本合計	56,264	56,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,152	320
繰延ヘッジ損益	△76	△0
為替換算調整勘定	△2,303	△2,156
その他の包括利益累計額合計	△1,228	△1,836
少数株主持分	775	787
純資産合計	55,811	55,945
負債純資産合計	131,040	130,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	41,185	40,113
売上原価	28,982	28,031
売上総利益	12,202	12,082
販売費及び一般管理費	9,095	9,332
営業利益	3,106	2,749
営業外収益		
受取利息	5	8
受取配当金	139	179
持分法による投資利益	230	121
受取賃貸料	42	41
その他	201	89
営業外収益合計	619	440
営業外費用		
支払利息	301	272
退職給付会計基準変更時差異の処理額	223	223
為替差損	170	51
その他	255	176
営業外費用合計	951	723
経常利益	2,774	2,467
特別利益		
受取補償金	—	650
特別利益合計	—	650
特別損失		
固定資産処分損	57	120
事務所移転費用	—	40
災害による損失	895	—
その他	335	28
特別損失合計	1,288	190
税金等調整前四半期純利益	1,486	2,927
法人税、住民税及び事業税	832	962
法人税等調整額	△368	208
法人税等合計	463	1,171
少数株主損益調整前四半期純利益	1,022	1,756
少数株主利益	14	20
四半期純利益	1,008	1,736



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,022	1,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	△833
繰延ヘッジ損益	—	75
為替換算調整勘定	48	91
持分法適用会社に対する持分相当額	21	55
その他の包括利益合計	△186	△611
四半期包括利益	836	1,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	822	1,127
少数株主に係る四半期包括利益	14	18

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,486	2,927
減価償却費	2,567	2,539
引当金の増減額(△は減少)	△182	△1,030
受取補償金	—	△650
売上債権の増減額(△は増加)	111	1,037
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,961	△1,023
仕入債務の増減額(△は減少)	1,370	△702
その他	511	755
小計	2,903	3,853
利息及び配当金の受取額	145	188
利息の支払額	△312	△275
補償金の受取額	—	650
法人税等の支払額	△322	△1,870
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,413	2,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,501	△2,252
固定資産の売却による収入	1	10
投資有価証券の取得による支出	△0	△1,022
その他	△21	456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,522	△2,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△135	390
長期借入れによる収入	5,100	3,700
長期借入金の返済による支出	△5,727	△3,783
配当金の支払額	△996	△996
その他	△101	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,860	△807
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△921	△1,037
現金及び現金同等物の期首残高	14,660	8,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,739	7,420

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維事業	グラスファイバー事業	環境・ヘルス事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	3,171	29,207	8,019	786	—	41,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	235	225	73	△536	—
計	3,173	29,443	8,244	859	△536	41,185
セグメント利益又は損失 (△)	109	2,642	310	156	△113	3,106

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△113百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維事業	グラスファイバー事業	環境・ヘルス事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	2,811	29,283	7,222	795	—	40,113
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	135	165	148	△453	—
計	2,814	29,419	7,388	944	△453	40,113
セグメント利益又は損失 (△)	54	2,552	562	160	△580	2,749

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△580百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成24年4月1日付でグループの事業基盤を一層強固にするために実施した組織改編に伴い、従来「繊維事業」、「グラスファイバー事業」、「環境事業」及び「医薬・飲料事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「繊維事業」、「グラスファイバー事業」及び「環境・ヘルス事業」の3つに変更しております。

「グラスファイバー事業」におきましては、これまで「環境事業」に含まれておりましたグラスウール製品の製造加工及び販売、機械設備の設計・製作販売等が含まれております。

また、「環境・ヘルス事業」におきましては、「医薬・飲料事業」と、これまで「環境事業」に含まれておりました音響工事の設計・監理及び請負、ロックウール製品や農産物の生産及び販売等を統合しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。